

経営改善目標の達成に向けた取組状況

1 法人の概要 (平成30年6月19日現在)

法人名	公益財団法人かながわトラストみどり財団					
設立根拠	一般社団法人及び一般財団法人に関する法律			設立年月日	昭和60年6月1日	
所在地	横浜市西区岡野2-12-20			代表者名	理事長 川本 守彦	
				電話番号	045-412-2525	
基本財産等	332,000 千円	県出資額	300,000 千円	県出資率	90.4%	

2 法人運営における現状の課題

長期債券(20年債、30年債)を購入し、基本財産の運用益増加のための工夫を行っているが、低金利により厳しい状況であり、自主財源確保に課題がある。そのため、会員等に緑地保全への支援会費及び寄附金への協力をより一層積極的に呼び掛けるとともに、有料の自然観察会等を開催している。
 また、経済的な理由で退会する会員がいるため、会費収入が低迷しているので更なる広報や情報発信等に努力する。
 緑の募金収入は、街頭募金が減少しているため、イベントでの募金協力への強化を行うとともに企業、学校への協力要請を行っている。

3 経営改善目標の達成に向けた取組実績等

* 各項目ごとに、下段の()内に目標を、上段に実績を記載してください。

【県民サービスの向上】

No	項目	28年度	29年度	30年度	年度	30年度自己評価
1	ホームページアクセス件数/月	14,186件 (14,500件)	14,851件 (14,600件)	14,787件 (14,700件)	()	A
	自己評価(目標未達の場合には必ず記載)	今後の取組方針(目標未達の場合には必ず記載)				
	フェイスブック等のSNSやホームページで即時的な情報発信に努めたところ、目標のアクセス件数を上回る成果を上げたため、A評価とした。					
	備考					

No	項目	28年度	29年度	30年度	年度	30年度自己評価
2	トラスト会員新規会員数 (普通会員)	761人 (500人)	722人 (500人)	605人 (500人)	()	A
	(トラスト緑地保全支援会員)	175人 (190人)	118人 (200人)	150人 (210人)		
	自己評価(目標未達の場合には必ず記載)	今後の取組方針(目標未達の場合には必ず記載)				
	普通会員は目標数を上回る成果を上げた。トラスト緑地保全支援会員は目標数を下回ったが前年度を超える成果を上げたため、A評価とした。	イベントや機関誌ミドリ、また、令和元年6月9日にオープンした「小網代の森インフォメーションスペース」の活用により、トラスト緑地支援会員の加入PRに努める。				
	備考					

No	項目	28年度	29年度	30年度	年度	30年度自己評価
3	保存契約緑地拡大面積	1,778㎡ (500㎡)	935㎡ (500㎡)	519㎡ (500㎡)	()	A
	自己評価(目標未達の場合には必ず記載)	今後の取組方針(目標未達の場合には必ず記載)				
	久田緑地の保存契約面積が拡大したため、A評価とした。					
	備考					

No	項 目	28年度	29年度	30年度	年度	30年度自己評価
4	森林づくりボランティア参加者数	11,811人 (10,400人)	10,191人 (10,500人)	10,120人 (10,500人)	()	A
	自己評価(目標未達の場合には必ず記載)		今後の取組方針(目標未達の場合には必ず記載)			
	天候により目標の参加人数は下回ったが1万人を超えているため、A評価とした。		引き続きホームページ等によるイベントPRに努める。			
	備考					

No	項 目	28年度	29年度	30年度	年度	30年度自己評価
5	森林インストラクター養成者数(延べ) (1期[2年間]35名)	460人 (461人)	497人 (496人)	497人 (496人)	()	A
	自己評価(目標未達の場合には必ず記載)		今後の取組方針(目標未達の場合には必ず記載)			
	森林づくり活動及び森林体験学習の指導体制を強化するため第16期の森林インストラクター(1年目)の養成を行った。					
	備考					

No	項 目	28年度	29年度	30年度	年度	30年度自己評価
6	みどりの実践団体数(財団事業に参加する団体数)	208団体 (205団体)	140団体 (210団体)	180団体 (220団体)	()	B
	自己評価(目標未達の場合には必ず記載)		今後の取組方針(目標未達の場合には必ず記載)			
	地域で自主的に緑化活動に取り組んでいる「みどりの実践団体」に、財団が主催する交流会、講習会及び緑の募金活動等への参加を呼び掛けたが、目標団体数を下回った。		平成29年度に団体からの要望を踏まえて、樹木配布事業を廃止したため、平成29、30年度は目標数を下回った。平成30年度は新たに地域緑化助成事業を実施した。財団が主催する交流会、講習会、各種イベント等の参加及び会員の登録に引き続き努めていく。			
	備考					

【収支健全化に向けた経営改善】

No	項 目	28年度	29年度	30年度	年度	30年度自己評価
1	会費収入	17,112千円 (17,900千円)	17,356千円 (18,000千円)	16,995千円 (18,100千円)	()	B
	自己評価(目標未達の場合には必ず記載)		今後の取組方針(目標未達の場合には必ず記載)			
	会費納入の利便性を高めるため引き続き口座引落の広報に努めた。また、新規優待施設の導入及び自然観察会等のイベントの質の向上に努めたが目標額を下回った。		令和元年6月に開設した「小網代の森インフォメーションスペース」の利用者へ会員拡大の広報に取り組んでいく。また、更新率の高い口座引落の周知を図り、会費収入の確保に努める。			
	備考					

No	項 目	28年度	29年度	30年度	年度	30年度自己評価
2	寄附金収入(緑の募金を除く)	10,331千円 (3,100千円)	9,820千円 (3,200千円)	3,348千円 (3,300千円)	()	A
	自己評価(目標未達の場合には必ず記載)		今後の取組方針(目標未達の場合には必ず記載)			
	機関誌ミドリに寄附金キャンペーンを掲載したところ、大口の寄附金などの協力を得たため、A評価とした。					
	備考					

個人 321件
団体等 8件

No	項 目	28年度	29年度	30年度	年度	30年度自己評価
3	緑の募金収入	19,411千円 (25,000千円)	20,680千円 (25,000千円)	20,816千円 (25,000千円)	()	B
	自己評価(目標未達の場合には必ず記載)		今後の取組方針(目標未達の場合には必ず記載)			
	企業募金は前年度を上回ったが、それ以外の募金が伸び悩み目標額に届かなかった。		引続き各種の募金協力の強化を図るとともに、公益社団法人国土緑化推進機構と調整し、市民団体への働きかけを行っていく。			
	備考					

4 取組実績等についての総括(法人)

かながわのナショナル・トラスト運動や県土緑化運動を一層推進するため、普及啓発活動を通じてネットワークの拡大を図りながら、寄附金・募金や会員の獲得による資金調達強化に取り組んできた。新規会員数は、近年、目標数値の500人を超えているが、今年度は会費収入が目標額を下回ったため、広報の拡大及び退会者を減らすための情報発信を展開していく。また、自主財源の拡大を図るため、財団事業や法人運営への寄附の増強及び企業等からの事業受託に努めた。
また、緑の募金収入は、引き続き、街頭募金、企業募金・学校募金の拡大に努め、増加に取り組んでいく。

5 取組実績等についての総括(所管課)

経営改善目標として掲げている10項目のうち5項目で目標を達成しており、経営改善について一定の成果が出ていると認められる。
特に、普通会员の新規会員数の目標達成は5年連続となっており、地道な広報活動と企画充実の成果と考えられる。また、保存契約緑地の拡大面積も目標を達成したことは、かながわのナショナルトラスト運動の推進のために大きな役割を果たしていると言え、評価すべき点である。目標未達となった森林づくりボランティア参加者数は天候不順によるものであり、「山のみどり」を育てる活動自体は順調に浸透している。
一方で、会費収入は目標を下回った。新規会員獲得に向けた小網代の森インフォメーションセンターの活用や、現会員が継続的に会費を納入できる口座引き落としへの移行の強化は評価できるが、自主財源の柱とするには限界があるため、緑化のノウハウを活用した事業受託の展開が必要である。既に財団も取り組みを始めているが、この取組を一層強化していただきたい。
所管課としても、財団の活動を支援するとともに、事業の円滑な実施及びさらなる経営改善に向けて協力を行ってきたい。

6 第三セクター改革推進部会の総合評価(及び今後の取組みに向けた意見)

評価結果	
A	概ね着実に取組が進められている。 トラスト会員新規会員数の増加に努めていただきたい。